



# Future Class Room.

本当に強い大学には、進化した「学びの場」がある。



UCHIDA

**内田洋行** 株式会社内田洋行 教育・学校・官公自治体分野 〒135-0016 東京都江東区東陽2-3-25 住生興和東陽町ビル TEL:03-5634-6237

[www.uchida.co.jp](http://www.uchida.co.jp)

小樽の歴史や文化、歴史的建造物についてまとめた二つの冊子を手にする小樽商大生



# 「人」と「建物」に学ぶ2冊

## 商大生、小樽運河保存運動など取材

小樽商大は、学生が小樽在住の23人に小樽の歴史や文化をインタビューした冊子「小樽のひとに学ぶ」、歴史的建造物を紹介した冊子「小樽れっけん 小樽の歴史的建造物ものがたり」をそれぞれ発行した。昭和の小樽を知る人から運河保存運動などの取り組みを聞き「生の声」として残すことが狙い。メンバーの一人で同

組む団体「小樽再生フォーラム」事務局長の橋本克久さんから23人に話を聞いた。小樽のまちづくりや観光月17年4月号に掲載された内容をまとめた。同写真部などが製作し、市内12カ所の歴史的建造物の写真

### 「同世代の若者読んで」

大2年の上野浩輔さんは「同世代の若い人たちに読んでほしい」と話している。「小樽のひとに学ぶ」は昨年度の授業「グローバルリズムと地域経済」の一環で製作。授業を受けた当時の1年生約100人がチームを組み、運河保存運動に取り組んだ元小樽市議の山口保さんや景観保護などに取り  
に携わる専門家、老舗の経営者など、50〜90代の幅広い世代を取り上げ、写真やプロフィールを交えて、主な活動や課題などをまとめている。B5判フルカラーで55頁、1500部製作した。一方、「小樽れっけん」は、月刊フリーペーパー「小樽チャンネルMagazine (マガジン)」で16年5月と関連する物語を紹介している。A4判フルカラーで29頁、3500部製作した。両冊子の編集作業などを行った同大の高野宏康学術研究員は「まちづくりや地域活性化のヒントにしたい」と話している。市立小樽図書館などの公共施設で今月下旬から無料配布する。(三坂郁夫)

# 古平の新町長 貞村氏初当選

無投票

古平町長選が18日告示され、新顔で前道総務部次長の貞村英之氏(59)が無所属のほかに届け出はなく、



貞村 英之 59 無新①

園道総務部次長・小樽市副市長▽小樽商大短大部

無投票で貞村氏の初当選が決まった。

4期目の本間順司町長

(72)が体調不良を理由に引退を表明。貞村氏は「未来へ向けて一歩ずつ」をスロガンに、基幹産業の漁業の基盤整備と海づくり、次

世代を担う子育て支援や教育環境の整備などを公約に掲げた。17日現在の選挙人名簿登録者数は2887人。